

発行／出雲市文化環境部環境政策課減量推進係 E-mail:kankyoseisaku@city.izumo.shimane.jp

〒693-8530 出雲市今市町70 ☎0853-21-6988 FAX 0853-21-6597

○ 出雲ごみダイエット速報 (エネルギーセンター搬入実績：燃えるごみ)



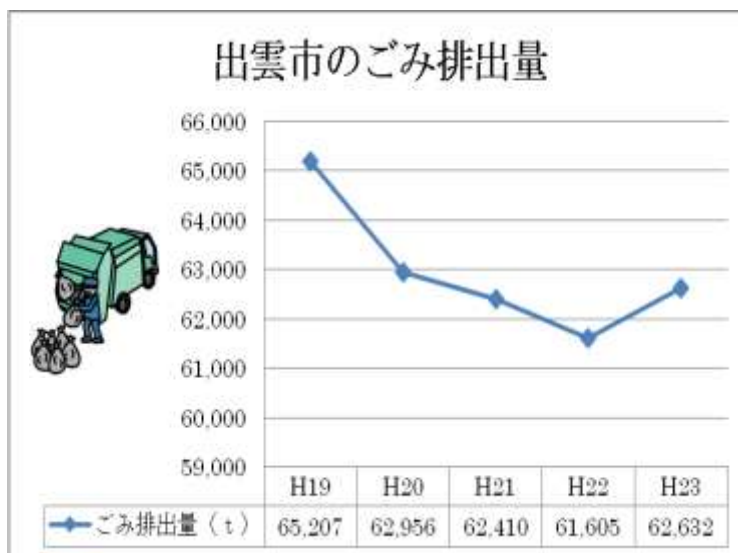
平成24年(4月～12月累計)	平成23年(4月～12月累計)	増加
36,319トン	35,827トン	492トン

ダイエット失敗!・・・1.4%の増加。ごみを減らそう!!

ごみ処理にかかるお金はこんなにかかっています

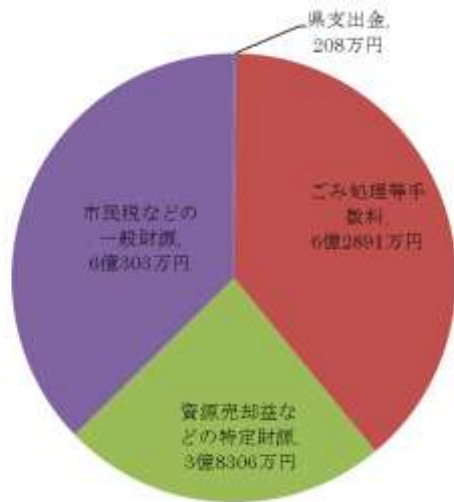
出雲市内から排出されるごみを処理するためには、年間約16億1700万円(平成23年度実績)という多額の費用が使われています。今回は処理経費について考えてみましょう!

出雲市のごみ排出量は近年減少傾向にありましたが、平成23年度からは可燃ごみを中心に増加に転じ、約6万2632トンとなりました。さらに平成24年度でもごみが増え続けているところです。一方、出雲市の人口は毎年減少していることから、単純に1人あたりのご

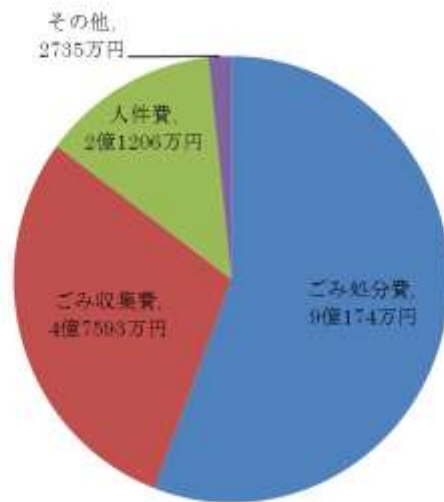


みが増加していると考えられます。では、気になるごみ処理経費はどれぐらいかかっているのでしょうか。

平成23年度のごみ処理にかかった経費は年間約16億1700万円で、単純計算すると1トン当たり約2万6千円、住民1人当たりになると年間約9200円かかったこととなります。



平成 23 年度歳入



平成 23 年度歳出

これらを賄った財源のうち、皆様からいただいたごみ袋代などのごみ処理手数料は、全体経費の約 4 割、市民税などの一般財源は約 4 割を占めます。約 16 億円の莫大なごみ処理経費をいかに抑えていくかが、市の課題となっています。

市民の皆様が普段生活されている中で、意識的にごみの減量に取り組んでいかなければ、決してごみが減ることはありません。そこで、市民全体の取り組みとして「1 人 1 日 100 グラムのごみダイエット」に挑戦してみたいはいかがでしょうか。この取り組みを行うことによって、年間約 6400 トンのごみを削減することができます。



皆様が買い物をされる際に、もう一度考えてください。「これって本当に必要？」
捨てる前にも考えてください。「これって他の使い方ができるんじゃないかな？」
それでも使い道が無いものについては、捨てる前にもう一度だけ考えてください。「リサイクルできるんじゃないかな・・・」

その気持ちのひとつひとつが、3Rの取り組みであり、ごみ問題解決の大きな一歩となるのです。市民一丸となって取り組みましょう。

突撃！ごみ減量化レポート！

このコーナーでは皆様のご家庭でごみ減量をどのように工夫して実践していらっしゃるかをレポートし、ご紹介していくという情報コーナーです。

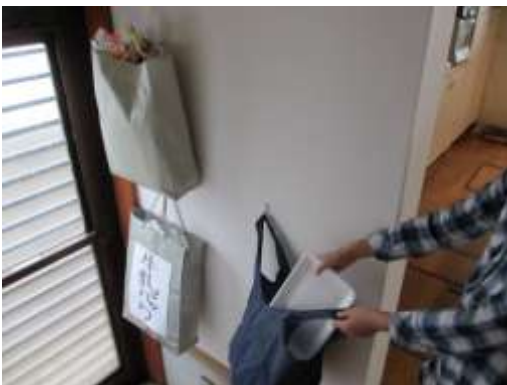
今回は斐川地域にお住いのHさんのお宅を突撃させていただきました。

夫婦と子ども3人の5人家族でお住いのHさんですが、今までごみの減量を意識していなかった頃は、週2回の可燃ごみ収集の時には必ず大きいサイズの指定ごみ袋を2つ以上出していたらっしゃいました。

でも、お子さんが学校でリサイクルを学んでくる頃から家族でごみ減量化に取り組むことを考えられたそうですよ。

そのひとつが、マイバッグを使った分別リサイクルです。

台所の勝手口の壁にフックを取り付けて、そこに紙袋やマイバッグをぶら下げておくという、至ってシンプルな方法です。



紙袋には買い物から出る紙包装などの雑紙などを入れて、マイバッグにはペットボトルや食品トレーなどのスーパーで店頭回収されているものを入れて、買い物の時にはそのマイバッグを持って出かけるという具合です。

「このやり方を始めたら我が家でもリサイクルがすっかり定着しましたよ。生ごみの堆肥化もしていますので、今では可燃ごみは週に1回1袋に減りました。我が家も出雲市も大助かりですよ。」とHさんは気さくにお話してくださいました。皆様のご家庭でも参考にされてみてはいかがでしょうか(^_^)/